

事業計画書

<p>事業名</p>	<p>外国ルーツの方との言葉と文化の交流事業 ※簡潔で分かりやすい名称を付けてください。</p>
<p>種類</p>	<p>(1) SDGs 推進事業 (人間 豊かさ 地球 平和 パートナシップ) (2) 自立促進事業 (人間 豊かさ 地球 平和 パートナシップ)</p>
<p>1. 事業の目的</p>	<p>事業の目的は以下の 2 つです。</p> <p>(1) 地域に暮らす外国ルーツの方の日本語習得と子どもたちの学習支援の充実</p> <p>(2) 外国ルーツの方と地域住民との学び合いによる理解の促進</p> <p>本法人は、令和 4 年 5 月に発足したばかりで、これまでの活動実績はありませんが、任意団体として、主に難民申請中の仮放免者の居住と生活の支援活動を 2 年間行ってきました。</p> <p>活動の中で明らかとなったのは、難民申請者を含めた外国ルーツの方への根深い偏見と差別意識です。難民認定制度など、国の法規制や運用などの課題以上に、外国人を犯罪予備軍としてとらえ、地域から排除すべきという意識を持つ方が、いまだに多く存在することが、根本的な社会課題であると考えています。</p> <p>「誰一人取り残さない」という SDGs の基本理念の実現には、外国ルーツの方が日本で暮らしていくための日本語習得と日本文化、地域の文化の理解が重要であり、その機会をより多く提供することが必要です。</p> <p>同時に、私たち市民が外国ルーツの方とふれ合い、学び合っ文化を共有することは、知識や教養を深めるだけでなく、たがいの理解を深めることにつながります。未来を担う若い世代の方にとっては、世界や社会への興味をかきたて、マイノリティへの偏見、差別のない社会をつくるための重要なステップになると考えています。</p>
<p>2. 事業の内容</p>	<p>(1) 外国ルーツの方への日本語教室と子どもたちの学習支援</p> <p>①趣旨：NPO 法人ウィズ・ザ・スモールが拠点としている小川町では、町が主催する日本語教室が、月曜午前と火曜夜のそれぞれ隔週に開催されています。受講生はどちらかに参加することが現実的ですが、より多くの学習機会がほしいという希望もあります。</p> <p>そのため、現在は行われていない週に日本語教室を開催することで、日本語学習の習慣化と学習効果の向上をはかります。</p> <p>また、親子での参加もあることから、子どもたちの学習支援を同じ教室内で行うことにより、子どもたちの学力向上と日本語習得の機会が限られている母親にも日本語習得の機会を提供します。学習支援については、塾で外国ルーツの子どもたちも指導している講師を中心に行っていきます。</p>

また、期間内に日本語学習ボランティア養成講座を開催して、人材養成を図ります。

②実施時期：令和4年7月～令和5年2月

③対象者：小川町および周辺地域在住在勤の外国人

④場所：小川町町民会館

⑤参加見込人数：各回5～10人程度

⑥外部の協力者・団体など：小川町役場防災地域支援課・子育て支援課・生涯学習課、小川町日本語教室参加ボランティア講師、東松山市国際交流協会、埼玉県国際交流協会など

(2) 言葉と文化の交流会と対話を基にした勉強会

①趣旨：職場や学校以外で、外国ルーツの方と私たち市民が触れ合う機会は限られており、日本語教室の受講生からは、日本人の友人がいないため、日本人と話す機会もほとんどないとの声も聞かれます。

こうしたことから、比企地域の特色である有機農業の体験や、たがいの料理や音楽などを介した言葉と文化の交流会による学び合いの場を、地域のNPOや有機農家グループと協力して、開催します。

また、難民や外国ルーツの方が直面している様々な課題について、当事者や支援団体、支援者の方にも参加してもらい、私たち市民が学べる勉強会を実施します。地域の高校生など、若い世代にも参加を呼びかけ、私たちの社会が抱える課題について考える機会にしたいと考えています。

コロナウイルス感染症の終息が見通せないため、オンラインでの開催の併用も検討しています。

②実施時期：令和4年7月～令和5年2月

③対象者：小川町および周辺地域在住在勤の外国ルーツの方、難民申請者の方、交流を希望する市民

④場所：小川町内農地、東松山市コミュニティカフェなど

⑤参加見込人数：各回5～10人程度

⑥外部の協力者・団体など：NPO法人つばさ遊（小川町）、NPO法人チーム東松山（東松山市）、埼玉県社会福祉士会、仮放免者の会、BOND（外国人労働者・難民とともに歩む会）、（一社）ミナー、埼玉県立小川高等学校、筑波大学附属坂戸高等学校、SRSG（上智大学難民支援グループ）など

(3) 映画自主上映会

①趣旨：昨年、任意団体として、筑波大学附属坂戸高校有志生徒と共催したドキュメンタリー映画「東京クルド」の上映会を通して、日本に暮らす難民申請者の置かれた現状について、多くの市民、とくに高校生など若い世代の方にも知ってもらえました。

同じ映画の上映会を8月に県立小川高校様の協力のもと、他の支

援金により開催することが決まりました。映画の内容等、詳細は未
定ですが、年度内にさらに1回の上映会開催を考えています。

映画という媒体を通して、私たちが暮らす社会について、多くの
方に考えるきっかけを提供したいと考えています。

②実施時期：令和5年1月頃

③対象者：一般市民

④場所：比企地域および周辺地域で検討中

⑤参加見込人数：100人程度

⑥外部の協力者・団体など：NPO法人チーム東松山、株式会社ドキ
ュメンタリージャパン、開催地自治体など

3. 実施計画

(1) 外国ルーツの方への日本語教室と子どもたちの学習支援

①実施までの準備：5月末現在、既に偶数週火曜日に試行中。日本
語学習ボランティア養成講座については、埼玉県国際交流協会に
相談予定。

②スケジュール

時期	
7月	偶数週火曜日 19時～21時開催
8月	同上。以後、要望に応じて変更も検討
9月	
10月	
11月	
12月	日本語学習ボランティア養成講座開催
1月	
2月	

③広報計画：町広報誌への掲載、口コミ

(2) 言葉と文化の交流会と対話を基にした勉強会

①実施までの準備：5月末現在、月1回農業体験試行中。7月から
の交流会開催に向けて、コミュニティカフェ予約と広報を6月から
実施予定。8月の勉強会については、県立小川高等学校で開催
予定の「東京クルド」自主上映会に併せて実施予定。

②スケジュール

時期	
7月	交流会（農業体験）
8月	勉強会（上映会に併せて実施）
9月	交流会（内容検討中）
10月	交流会（内容検討中）
11月	交流会（内容検討中）
12月	交流会（内容検討中）
1月	勉強会（上映会に併せて実施）
2月	交流会（内容検討中）

③広報計画：HP、SNS、ちらし、口コミ

	<p>(3) 映画自主上映会</p> <p>①実施までの準備：10月に上映する映画や会場を決定し、配給会社、会場等を予約。内部でのボランティア募集を2か月前から開始。少なくとも1か月前に広報と観覧希望者の受付を開始。</p> <p>②スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="459 360 1311 772"> <tr> <td>時期</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>(8/20 第1回上映会)</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>第2回上映会概要決定 配給会社・会場予約</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>ボランティア募集</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>広報・観覧受付開始</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>第2回上映会開催</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td></td> </tr> </table> <p>③広報計画：HP、SNS、広報誌、ちらし、口コミ</p>	時期		7月		8月	(8/20 第1回上映会)	9月		10月	第2回上映会概要決定 配給会社・会場予約	11月	ボランティア募集	12月	広報・観覧受付開始	1月	第2回上映会開催	2月	
時期																			
7月																			
8月	(8/20 第1回上映会)																		
9月																			
10月	第2回上映会概要決定 配給会社・会場予約																		
11月	ボランティア募集																		
12月	広報・観覧受付開始																		
1月	第2回上映会開催																		
2月																			
<p>4. 実施体制</p>	<p>法人発足初期のため、当面の各責任者は、代表理事とします。計画進行に伴い、体制を整備し、担当を振り分ける予定です。現時点での担当者は以下のとおりです。①統括責任者②連絡責任者③現場責任者④経理担当者⑤広報担当者とも、代表理事・中野智幸が担当。</p>																		
<p>5. 事業の効果</p>	<p>日本語教室と学習支援事業により、外国ルーツの方の日本語能力が向上し、彼らの社会参加が促されることで、地域の一員として認められていくことが期待されます。また、子どもたちも言葉や学習の遅れによる疎外感を持つことが減り、将来の希望を抱きながら成長する環境が地域につくられます。</p> <p>日本語習得の機会が限られている女性（特に母親）の社会への参加のハードルを下げるとともに、家庭内では親子の意思疎通を円滑にする効果が期待できます</p> <p>交流会や勉強会、上映会を通じて、市民と外国ルーツの方とが双方の文化を共有し、おたがいの理解を深めることにつながります。</p> <p>特に未来を担う若い世代の方には、外国ルーツの方だけでなく、マイノリティへの偏見や差別のない社会について考える大きなきっかけになると考えています。</p> <p>有機農業などの地域資源を活かした事業により、「誰一人取り残さない」エシカル（倫理的）な地域社会を埼玉県比企地域から実現する一歩となると考えています。</p>																		
<p>6. 今後どのように事業を継続し発展させるか ※自立促進事業のみ</p>																			